



第8回「介護福祉のみらい」作文コンクール 入賞作品発表 **最優秀賞は澤瀉紅愛さん（兵庫県・高校3年）**

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会（代表理事＝多田 宏）は、このほど、第8回「介護福祉のみらい」作文コンクールを実施いたしました。将来を担う中学生、高校生に、介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する機会をもってもらうことを目的に、令和5年6月1日から9月11日にかけて作品を募集しました。

全国より応募総数 638 編の作品が寄せられ、黒澤貞夫審査委員長（日本生活支援学会会長／浦和大学名誉教授）のもと、厳正な審査を行った結果、別紙のとおり入賞作品が選出されたので発表いたします。

入賞者には本会より賞状を、また、大塚商会様より副賞を贈呈いたします。

黒澤貞夫 審査委員長のことば

この度は、全国の中学生、高校生の皆さん、作文をお寄せいただきありがとうございました。どの作文も皆さんの介護福祉に対する思いや願いが伝わってくるものでした。

総評として、以下の3点を挙げます。第一に、実際の生活の場面から介護というものを結び付けて、介護というものの価値を高め、介護の仕事の大切さを導こうとしていること、そこに根拠をみつけていることは大変すばらしいことと思います。第二に文章が平明で非常に整っている点が挙げられます。第三には、自分が将来どんな人間になろうとしているのか、その意欲というものが文章からにじみ出ている点です。将来の福祉の人材として期待する観点からも評価できます。

日常生活の体験というのは決して小さな問題ではありません。そこから介護の大切さを導こうとしていることは、学問としても実際に介護の仕事を行うにしても重要なことです。そうしたいろいろな事例から自分の人格というものが形成されていきます。特に学生である若い人たちは日々成長している過程のなかにあり、そこへ実際の事例が組み込まれていく、それは人間の成長という点から見てもとても大切なことです。そこから介護福祉の仕事に携わる者としての意欲というものがにじみ出てきます。事例が有益な示唆を与えてくれているのです。これからもそうした事例を大切にして学習に励んでください。

【第8回「介護福祉のみらい」作文コンクール 入賞者】

○最優秀賞 作品名「深く知る、そして寄り添う」

おもだか くれあ
澤 瀉 紅愛さん（兵庫県立日高高等学校 福祉科3年）

○優秀賞 作品名「介護や福祉に関する実体験等を通して感じたこと」

たゆき あやか
田行 彩香さん（兵庫県立龍野北高等学校 総合福祉科3年）

○佳作 作品名「知ると世界が広がる」

なかた あき
中田 彩姫さん（兵庫県立日高高等学校 福祉科3年）

○佳作 作品名「その人らしく生きること」

つちや ゆいな
土屋 結菜さん（兵庫県立日高高等学校 福祉科3年）

○佳作 作品名「学び」

きしもと ひより
岸本 一依さん（兵庫県立日高高等学校 福祉科2年）

○佳作 作品名「介護や福祉に関する実体験で感じたこと」

いりえ こころ
入江 ココロさん（栃木県立矢板高等学校 1年）

○佳作 作品名「自分のために 人のために」

ささき おみと
佐々木 臣斗さん（佐賀県立神埼清明高等学校 2年）

○奨励賞 作品名「介護や福祉に関する実体験等を通して感じたこと、考えたこと」

らばなる みか
ラバナレ ミカさん（栃木県立真岡北陵高等学校 2年）

以上

〈本件に関するお問い合わせ先〉

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会

（『介護福祉のみらい』作文コンクール事務局 担当：山口）

TEL : 03-3553-2896 FAX : 03-3553-2897 Mail:info@nkfk.jp